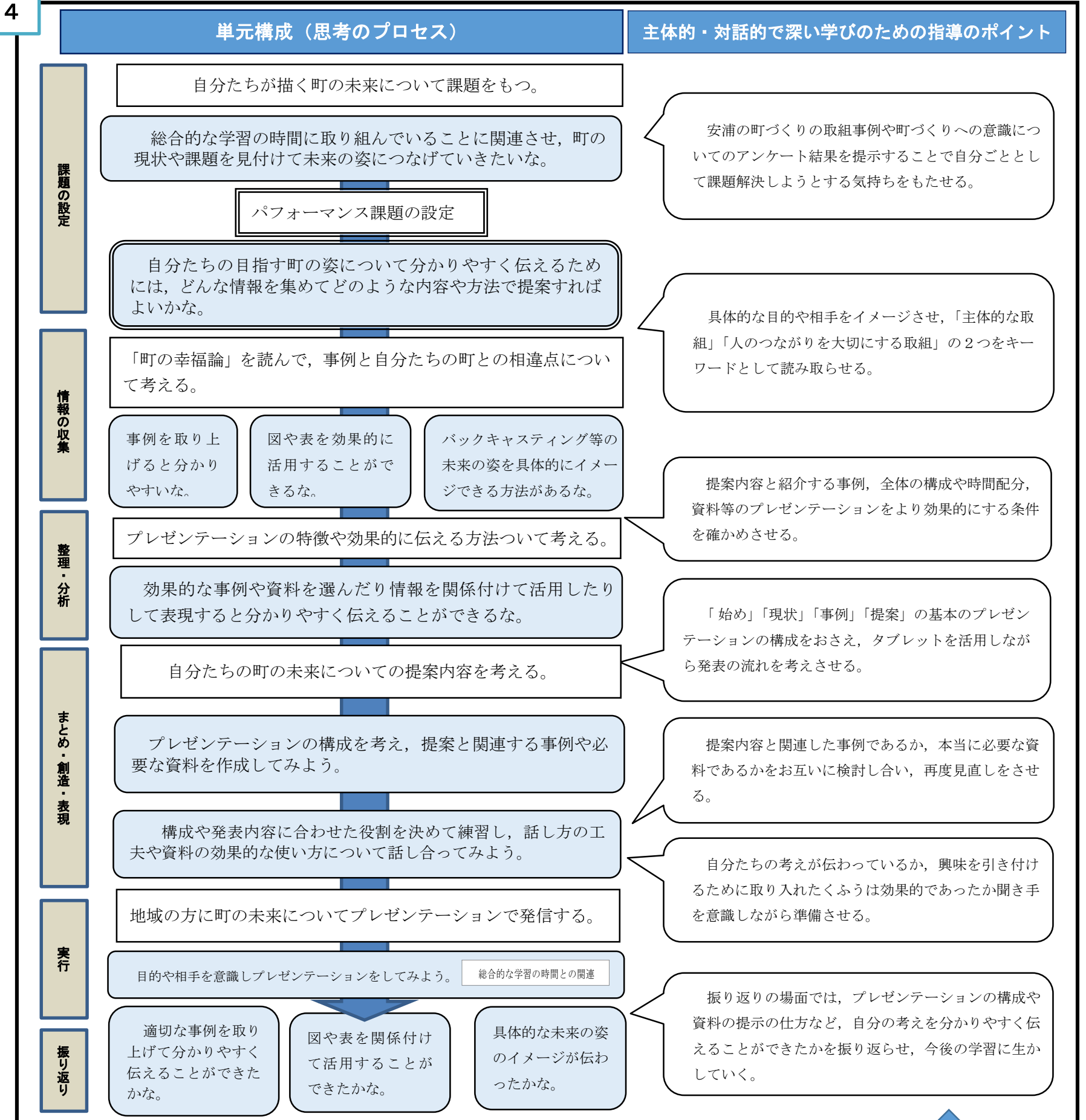


1 本単元で目指す児童の姿

本単元で目指す児童の姿	様々な情報を関係付けて表す方法や効果を理解し、目的に応じて情報を分類したり関係付けたりしながら、自分たちが描いた町の未来の姿をプレゼンテーションにまとめ、資料提示等工夫して表現している。	育成を目指す資質・能力	知識及び技能	情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うことができる。
			思考力、判断力、表現力等	目的に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討することができる。
			学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

4 課題発見・解決学習の過程



2 パフォーマンス課題

自分たちの町の課題解決に向けて未来の姿を描いた提案内容を各自が考え、安浦のまちづくりについて地域の方と一緒に活動につなげていくことができるように「やすうら未来子ども会議」に向けてプレゼンテーションで思いや考えを分かりやすく発信しよう。

3 ルーブリック（見直し・改善）

尺度	プレゼンテーションの構成	発表の表現力
3	提案内容に沿った複数の資料を関係付けたり全体の構成を練り直したりしながら、必要な文言や数値等を引用し実物や画像などを取り入れたプレゼンテーションを作成している。	聞き手の表情や反応に応じて問いかけや補足をしたり、順番やタイミングを工夫しながら資料を提示したりしながら場面や相手を意識して発表している。
2	提案内容に沿った資料を選び、必要な文言や数値等を引用したり、実物や画像などを用いたりしながらプレゼンテーションを作成している。	資料の順番を工夫したりタイミングよく資料を提示したりしながら場面や相手を意識して発表している。
1	提案内容に沿った資料を選び、プレゼンテーションを作成している。	資料を提示しながら発表している。

5